



Web版  
季刊報

T-Bizは大学発ベンチャーや大学と連携する企業の皆様をサポートする  
中小機構が運営するインキュベーション(起業家育成)施設です

2021年7月1日より“T-Bizで、はじめよう。Web版季刊報”の発行を開始いたします。  
皆様が「ジョハリの窓」という言葉をご存じでしょうか？ この自己分析手法は、4象限で判定されますが、T-Bizの存在意義を考えた際に、“自分は知っているが、他の方々が知らない”というまだ『秘密の窓』の位置付けに居る事を自覚しました。大きな反省の意味を込めて、新たなWeb版季刊報によりT-Bizを皆様にぜひ知っていただき、またぜひご活用していただきたいと思えます。  
東北大学連携ビジネスインキュベータ 【T-Biz】チーフインキュベーションマネージャー(CIM) 工藤 裕之

### T-Biz主催セミナー開催報告……知財セミナー、補助金・助成金セミナー

■ 4月13日、T-Biz・INPIT共催によるセミナー『御社の海外展開に潜む三つの知財・法務リスクとその対策』を開催しました。今回の知財セミナーはWeb形式で実施し、会議室に3名、Zoomで8名の参加をいただきました。当日はINPIT海外知的財産プロデューサー鈴木宗氏をWebで講師に迎え、米中の貿易摩擦と、それによる日本企業への影響、技術流出の原因と対策、契約軽視によるリスクについて学びました。これから中国企業との取引(契約)が始まるという参加者や、中国での技術流出及び特許の効果の情報を得たいという参加者もあり、タイムリーな内容となりました。また、問題が発生した具体的な事例(刑事事件・民事事件)を紹介してほしいという声も頂きました。

■ 4月26日には、『必ず知っておきたい！新事業展開のためのものづくり・研究開発支援制度活用法』というテーマで2021年度の補助金・助成金をはじめとする事業支援メニューの紹介を支援機関の宮城県・仙台市・みやぎ産業振興機構の担当者の方よりZoomでご説明いただきました。コロナ禍ではありますが14名にご参加頂きました。まだまだオンライン開催は不慣れではありますが、引き続きオンラインでも開催していきます。



会議室の様子 Zoom画面の様子

両セミナーとも、ご参加頂いた皆様、ありがとうございました。今後の予定ですが、『雇用契約・労務管理』や『資金調達方法』のセミナー、また『共済事業』や『J-GoodTech』の個別相談会などを企画中ですのご期待ください。

### メディア掲載のご紹介

- 2021年 4月 8日付 化学工業日報  
『振動発電デバイス開発 0.001Gで1ミリワット超』 SENDAI SMART MACHINES  
仙台スマートマシナズ株式会社 <http://www.ssmcoltd.co.jp>
- 2021年 5月 7日付 日本経済新聞  
2021年 5月20日付 日経産業新聞  
『センサー量産へ設備増強 東北大発 ボールウェーブ 年産5倍の5000台 計測機向け需要開拓』 Ball Wave  
ボールウェーブ株式会社 <http://ballwave.jp>
- 2021年 6月21日付 日経産業新聞  
『量子計算の輪、西森研から』  
「STARTup人脈MAP特集」記事に  
シグマアイ代表の大関真之東北大学大学院教授が掲載  
株式会社シグマアイ <https://sigmailab.com>

### (株)三幸がサポイン事業に採択

■ 中小企業庁による令和3年度予算「戦略的基盤技術高度化支援事業」(サポイン事業)に、株式会社三幸  <https://www.kk-sanko.co.jp> が採択されました。  
東北大学との連携による「超スマート社会実現の鍵を握る『機能性酸化単結晶』の貴金属増殖フリー量産技術開発」という研究開発計画が材料製造プロセスのものづくり基盤技術向上で評価されました。  
サポイン事業採択結果詳細は下記URL参照願います。  
<https://www.chusho.meti.go.jp/keiei/sapoin/2021/210616mono.html>

### ファイトケミカルプロダクツ(株)がクラウドファンディング目標達成、販売開始

ファイトケミカルプロダクツ株式会社が3月18日より実施していたクラウドファンディングは、支援募集期限の4月30日を前にNEXT GOAL 170万円の目標を達成しました。これを受けて、東北大発グリーンイノベーション技術を用いて国産米ぬか由来の未利用資源からスーパービタミンEを濃縮し、スーパービタミンEサプリ『おこめのきもち』の製品化を実施、6月9日よりオンラインショップでの販売が開始されました。

加藤牧子CEOからの御礼ご挨拶と『おこめのきもち』の詳しい商品説明は <https://phytochem-products.co.jp> より、クラウドファンディング結果は <https://readyfor.jp/projects/59554> よりご確認ください。



## T-Biz入居企業ご紹介

# 株式会社 T B A (Tohoku Bio Array)

## 簡単にできる遺伝子検査で 感染症のない世界を実現

J-Startup  
TOHOKU



代表取締役社長

川瀬 三雄 氏

### 遺伝子検査方法(STH法)とは？

STH(Single stranded Tag Hybridization)法、この検査法は病原菌やウイルスの存在する可能性のある検体を、特定の菌・ウイルスの遺伝子に反応する各種タグ付きプライマーが含まれたSTH試薬に入れ、PCR増幅工程を経たのち、着色剤を含むクロマト展開液を入ると菌やウイルスと反応したタグ付きプライマーだけが着色されます。そこに当社『株式会社TBA』が製造するPASと呼ばれるリトマス試験紙状の紙片を浸けると、溶液が毛管現象で上昇し、着色タグ付きプライマーは、各々のタグに相補な配列のDNAが印刷された特定のラインで捕捉され、そのラインが青く着色することにより、検体に含まれる菌やウイルスを特定することが可能となります。



大がかりな装置や高度な技術が必要なく、結果は着色されたタグを目視で確認できることから、『何処でも誰でも簡単に！』遺伝子検査ができるほか、検査にかかる費用も大幅に安くすることができるのです。

### 今後の目標と展望は？

WHOの調査データから推定される感染症の潜在的な遺伝子検査ニーズは、結核やマラリア、デング熱などで年間140億件とも言われています。当社は、STH法を活用して遺伝子検査・診断キットを製造・販売する世界各国の企業に対して、その基幹部材であるPASを提供することをビジネスモデルとしており、世界中の遺伝子診断キットの中にTBAのPASが使われることを目指しています。いわばパソコンにおけるインテルのような『TBA入ってる！』を目指すビジネスモデルです。なお、このSTH法は、簡単に言って、検体に混入する遺伝子を簡易に特定する検査なので、感染症の診断以外にも食品の品種鑑定や混入菌の検査、偽装食品検査等々の各種検査への適用が期待されますが、特別な専門知識や技術がなくても、特別な測定環境や設備がなくても、目視で簡単にその結果が判定できる遺伝子検査方法であるため、特に、インフラ整備の遅れている発展途上国医療現場での活用が期待されています。『何処でも誰でも手軽に実施できる感染症検査ツールを発展途上国に広く普及させ、感染症のリスクにさらされている多くの貧しい人々の救済に少しでも貢献し、世界の人々の健康と安心・安全な社会の創造につなげたい』との理念で活動しています。

### T-Biz入居のメリットは？

まずは、立地が良い事。東北大学とつながりの深い当社にとり東北大学の青葉山キャンパス内の立地は最高のメリットです。会議室や商談室も完備しており、来客対応や打ち合わせに便利です。最近、地下鉄東西線開業により仙台駅までのアクセスも大変良くなり出張などもとても便利です。IM(インキュベーションマネージャー)室からは、適合性のある複数のベンチャーキャピタルの紹介、また「Bio Japan」出展、「CEO商談会」参加、「J-Startup」認定の支援など様々な事業化推進へのサポートをいただいております。

### 《企業プロフィール》



2013年7月、何処でも、誰でも、簡単に実施できる遺伝子検査法:STH(Single stranded Tag Hybridization)法を社会に役立てる目的で設立。STH法を活用して設計される各種遺伝子検査キットに共通して使用される試験紙PASをメインプロダクトとして遺伝子検査キットメーカーに販売するB to Bのビジネスモデルを志向するユニークなバイオ系ベンチャー企業である。

中国、ベトナム、インド等の海外企業との協働を積極的に推進しており、今後の飛躍的成長やグローバルな活躍が期待され、2020年11月にJ-Startup Tohoku企業に選定。

〒980-8579  
宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6-6-40  
東北大学連携ビジネスインキュベータ307号室  
<https://www.t-bioarray.com/>



## 宮城県 新産業振興課 様 による新年度の創業支援方針についてご案内

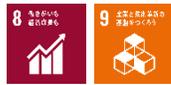
■ 4月に開催したT-Bizセミナー『必ず知っておきたい！新事業展開のためのものづくり・研究開発支援制度活用法』において県の補助金・助成金支援事業をご紹介いただいた **宮城県 経済商工観光部 新産業振興課 千葉様** より、宮城県の将来ビジョンや今後の取組み方針・支援事業ご案内を寄稿いただきました。ご一読いただいたうえ、下記URLより詳細ご案内のPDF資料をご覧くださいませ。

### 《 宮城県様 寄稿文 》



宮城県では、令和3年度を初年度とする『**新・宮城の将来ビジョン**』※1を策定し、今後見込まれる社会の変化等を踏まえながら将来の宮城のあるべき姿や目標を県民の皆さんと共有し、実現に向けて取り組むこととしております。

その中で、新産業振興課が属する経済商工観光部では、政策推進の基本方向を踏まえた取組として『**産学官連携によるものづくり産業等の発展と研究開発拠点等の集積による新技術・新産業の創出**』を掲げ、



- ① **イノベーションの創出による**  
高付加価値構造への転換と企業誘致の推進
- ② **研究開発拠点の集積や産学官連携による成長支援**
- ③ **県内ものづくり産業の成長支援**  
などを進めています。

T-Bizは(独)中小企業基盤整備機構が運営するビジネスインキュベーション施設で、インキュベーション・マネージャーやスタッフが常駐し、事業展開のために技術・経営・販路などの面での入居企業のサポートを行っていることが大きな特徴です。また、宮城県や仙台市も入居者への支援を行っており、県では、創業段階での事業運営を支援するためにT-Biz入居賃料の一部を補助する補助事業を実施しているほか、産学連携・知財コーディネータが入居企業の技術面・経営面等の課題解決の支援をしております。また、その他の事業として、製品開発・販路開拓・人材確保などの支援事業も実施しております※2。

T-Biz入居者の皆様には学術機関のシーズと連携して新規事業展開を図っていただいております。産学連携による県内産業の成長につながることを期待しております。支援事業などを通じて、皆様の事業化の推進を応援いたします。

- ※1 『新・宮城の将来ビジョン』 <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/seisaku/vision2021.html>
- ※2 『中小企業施策活用ガイドブック』 <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/keisyosom/chusho-books.html>

『中小企業施策活用ガイドブック』にはT-Bizセミナーで紹介いただいた補助金・助成金などの融資制度詳細のほか、各種相談窓口・販路開拓・海外ビジネス展開・人材育成まで多数の有益な情報や解決策が掲載されています。ぜひダウンロードのうえ事業運営に活用してください。

## T-Biz 『新規』 入居企業ご紹介



2021年2月24日入居

- **事業内容** 宇宙線(α線・β線・γ線 中性子線)  
検出デバイス・開発・製造事業  
宇宙線耐性評価コンサルティング事業

加速キッチン合同会社は東北大学サイクロ・RIセンターで行っていた大学生・中高生を対象にした加速器・宇宙線探究支援活動が元となり生まれました。弊社は中高生や一般の方でも手軽に使える宇宙線検出器・放射性検出器等を製作・配布及び検出器を用いた活動のサポートを行っております。宇宙線検出器は現在ほとんど民生品が存在しません。このような専門的な素粒子・原子核の研究装置を日本の中で広げていき、新しい教育や市民科学を開拓していくことが私たちのミッションです。

弊社の活動の特徴はT-Bizの地の利を生かして東北大を中心とした大学生・大学院生が中心となって開発・製作を行っていることで、現在は13名の大学生・大学院生が活動をしています。ご関心をお持ちの方はお気軽にご連絡下さい。



加速キッチン合同会社  
代表社員 田中香津生  
東北大学連携ビジネスインキュベータ  
401号室  
<https://accel-kitchen.com>



2021年5月18日入居

- **事業内容** CVD法による各種機能性材料の成膜事業

日本では、大学や研究機関が優れた技術を有しているにも関わらず、事業化されることなく埋もれてしまっている現状があります。これは、研究者がそれぞれのシーズごとに起業し事業化を行うにはリスクが伴うことが一因で、さらに研究者にとっては、会社経営や資本政策など、本質ではないタスクが増えることになり、結果的には日の目を見ない技術が増えてしまっているのです。そこで当社では、その埋もれたシーズを発掘し、さらにそのシーズを基にした実用化事業を行いたいと考えています。新たな技術シーズを積極的に取り入れ、ニッチでありながらも世の中を変えるモノ作りを目指しています。

その一つとして、現在注力しているのは、CVD法(化学気相法)を用いた各種成膜材料の実用化開発です。東北大学発の技術をベースに従来にない機能材料の実用化開発を行っています。



株式会社TUP  
代表取締役 佐藤浩樹  
東北大学連携ビジネスインキュベータ  
202号室  
<http://tup-inc.com/index.html>

## Q&A 東北大学連携ビジネスインキュベータ (T-Biz) の事業支援は

### Q1： 中小機構・T-Bizとは何でしょうか？

**A1： T-Bizとは** 東北大学青葉山キャンパス内に立地し、研究成果を基に新たなビジネスを行う方々を伴走支援をする「**大学連携型起業家育成施設**」です。独立行政法人 中小企業基盤整備機構が運営・管理をしている事から、**大学のキャンパス内に有りながら“会社登記(設立)”が出来ます。**

### Q2： T-Bizではどのような支援を受けられますか？

**A2： T-Bizでは** T-Bizという施設の管理はもちろん、主体は、研究シーズから事業化を図り、**企業の成長に合わせて伴走しながら包括的に行うソフト支援**にあります(事業計画・経営方針～ハードウェア・ソフトウェア・システムの製品出荷までの各種の課題解決)。T-Bizのスタッフは大手ICT企業・電子部品製造企業にて長年の開発・新事業企画・品質保証・海外製造工場運営の実務経験及びマネジメントの経歴を有し、**入居企業の創業支援に対して幅広い支援が可能**です。

### Q3： T-Bizにはどのような企業が入居していますか？

**A3： T-Bizには** バイオ(創薬・検査試薬開発)事業、先端素材開発事業、先端電子デバイス・モジュール開発事業、電子医療装置・開発事業、超高精度計測機器・システム開発事業、AIと連携する量子アニーリング技術開発事業などで、**現在20社(2021年6月末)に入居**いただいています。ある意味、**業態の異なる企業が集結し相互の共創を推進する“場”**ともなっています。

### Q4： T-Biz入居のメリットは何ですか？

**A4： T-Bizは** 東北経済産業局、東北経済連合会、宮城県産学連携推進部門、仙台市産学官連携推進部門、東北大学、中小機構東北本部(T-Biz含む)の6機関が集う運営委員会を設置しており、多様な支援ネットワークを構築しています。VCからの事業資金調達、国際展示会兼商談会「Bio Japan」や、「新価値創造展」などの開催や共催、製品に対する海外輸出入管理対応方法や、経済産業省が国際展開を図る企業を注力支援するJ-START UP企業・J-START UP TOHOKU企業への進展への支援、各種助成金獲得支援など、この**青葉山の地から海外展開を目指すグローバルニッチトップ企業への包括的な支援**を継続して行っています。

## T-Biz 施設ご紹介

充実の設備と恵まれた環境をぜひ一度ご覧ください



研究開発や製品の試作・製造拠点、オフィスとしてご利用いただくタイプの居室  
※ P2レベルまで可能(動物実験は不可だが、遺伝子組換え用微生物・魚類の評価飼育までは可能、要相談)



主にオフィスとしてご利用いただくタイプの居室



大人数の会議・セミナー等に使用できるプロジェクト・音響設備完備の共用会議室(1室・予約制)

居室面積や詳しい居室仕様などは下記ホームページをご覧ください。T-Bizに直接お問い合わせください。

## T-Biz アクセスとお問い合わせ先



JR仙台駅からお越しの際は  
地下鉄東西線「仙台」駅から  
「八木山動物公園」駅行きに乗車(約9分)。  
「青葉山」駅下車、南1出口から徒歩約2分。  
タクシーをご利用の場合(約15分)は  
「東北大学未来科学技術共同研究センター」  
と指示してください。その東隣です。



## T-Biz 東北大学連携ビジネスインキュベータ

〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉6-6-40

☎022-726-5866

<https://www.smrj.go.jp/incubation/t-biz/>



● 中小機構は、新たな一步を踏み出そうとしている経営者をハードとソフトの両面からサポートします。

[https://www.smrj.go.jp/regional\\_hq/tohoku/index.html](https://www.smrj.go.jp/regional_hq/tohoku/index.html)

#### インキュベーション

常駐する専門家が早期事業化を一貫してサポート

#### 起業相談支援情報

AIを活用した経営相談 J-Net21による起業・創業に役立つ情報サポート

#### アクセラレーション

資金調達や事業提携に向けた伴走型のアクセラレーター支援

#### ハンズオン支援 ～専門家派遣～

個別の経営課題に応じて豊富な経験と実績を持つ専門家チームを派遣

#### ビジネス マッチング

展示会・商談会や「J-GoodTech」サイトで販路開拓をサポート

#### 創業支援拠点

TIP\*S・BusiNest 交流や学びの場を提供 実践の第一歩をサポート

Be a Great Small.  
**中小機構**

中小企業基盤整備機構  
東北本部